

令和3年度 農業科（ハイテク農芸科）

教科	農業	科目	栽培環境	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書							
副教材等	「作物」「野菜」「果樹」「草花」（いずれも実教出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

作物、野菜、果樹、草花・造園の栽培や生産、利用に関する基礎的、共通的な知識、技術について学習します。植物の特性や性質を理解することで栽培や生産などの技術向上に繋げましょう。

2 学習の到達目標

- ・農業に関する基礎的な知識と技術（生理・生態・栽培に適した環境・利用）について、総合的かつ横断的に理解させる。
- ・科学的思考力と問題解決力を伸ばし、農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	園芸植物の栽培育成や利用及び安全な食糧生産と農場管理技術に興味・関心を持ち、科学的に捉えて合理的に解決しようとする実践的な態度を身に付けている。	園芸植物の栽培育成や利用及び安全な食糧生産と農場管理技術に思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、課題を適切に判断するとともに、科学的に捉えて合理的に解決し表現する創造的な能力を身に付けている。	園芸植物の栽培育成や安全な食糧生産と農場管理に関する基礎的な技術を身に付け、園芸植物の育成や利用に関するプロジェクトを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	園芸植物の栽培育成や安全な食糧生産と農場管理技術について理論的な知識を身に付け理解している。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノート レポート、発表 自己評価等	学習状況の観察 ノート レポート、発表 定期考査の結果 自己・相互評価等	学習状況の観察 ノート レポート、発表 定期考査、自己・相互評価等	学習状況の観察 ノート レポート、発表 定期考査の結果等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	人間生活と農業、園芸	○食糧生産と農業 ○人間生活と園芸 ○社会の変化と消費動向	○	○		○	a: 農業と人間生活の関係について興味関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 農業そのものや生産、利用について理論的に考え、判断・表現する姿が見られる。 c: 植物の分類ができる。 d: 植物の形態や機能について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	授業観察 ノート レポート 発表 自己・相互評価 定期考査
	植物の形態と特徴	○植物の分類 ・植物学的分類 ・園芸的分類 ○植物の形態と特徴 ・植物の構造と働き ・作物別利用部位	○	○		○		
	植物の成長と環境	○植物の生理・生態	○	○	○	○		
2学期	農業と環境	○農業と地球環境 ・物質循環 ○植物栽培と環境 ・地上部環境 ・地下部環境	○	○	○	○	a: 栽培環境や繁殖方法について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 栽培環境や繁殖方法について、課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c: 栽培環境や繁殖方法について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 栽培環境や繁殖方法について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	授業観察 ノート レポート 自己・相互評価 定期考査
	植物の繁殖	○種子繁殖	○	○	○	○		
3学期	植物の繁殖	○栄養繁殖	○	○	○	○	a: 繁殖方法に関心をもち意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 繁殖方法について、課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c: 繁殖方法について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。 d: 繁殖方法について理解し、基礎的な知識を身に付けている	授業観察 ノート レポート 発表 自己・相互評価 定期考査

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 技能 d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。